

# 臨床心理学専攻

## 多彩な教授陣と実習現場を通して、理論と実践を学ぶ

社会のさまざまな心理臨床の分野で活躍する高度専門職業人（公認心理師、臨床心理士）と、臨床心理学の実践と科学に関わる研究者の養成を目的としています。

専任教員は、心理臨床、カウンセリング、精神医学等の第一線で活躍中の専門家です。広範囲な理論と実習、研究倫理に基づく修士論文の指導体制が整っています。医療・発達・教育などに関わる豊富な実習現場と、学内の臨床心理相談室における実習教育にも特色があります。

大学院修了後に公認心理師試験（公認心理師施行規則が定める科目を修めた者）と臨床心理士試験（第一種指定校）が受験できます。修了生のほぼ全員が臨床心理士資格を取得し、臨床心理関係の専門職に就いて社会で活躍しています。また、博士後期課程（人間福祉専攻）への進学も可能です。

アドミッション・ポリシー (学生受け入れ方針)	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成・実施方針)	ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)
<p>〈入学前に修得しているべき能力〉</p> <p>【AP1 知識】4年制大学の心理学科卒業程度の臨床心理学領域を中心とした心理学に関する知識を有している</p> <p>【AP2 英文読解力】専門領域に関わる英語力を有している</p> <p>【AP3 表現力】問題状況に関する自身の見方を他者へ正確に伝達できる</p> <p>【AP4 思考・判断】研究テーマに関して、論理的に思考し、判断できる</p> <p>【AP5 意欲・関心】研究テーマへの強い研究意欲をもち、実践的な関心を有している</p>	<p>〈教育課程の編成方針〉</p> <p>本専攻の学位授与の方針を達成するために、以下の通り教育課程を編成する。</p> <p>修士（臨床心理学）</p> <p>【CP1】DP1専門知識、DP2読解力を養成するため、コースワークとして、近年の臨床心理学へのニーズの多様化・高度化に応じた臨床心理学の基幹を修得する「専門基幹科目」、それらをより深く展開する「専門展開科目」をおく</p> <p>【CP2】DP3表現力、DP4実践能力、DP5研究力を養成するため、リサーチワークとして、臨床実践に関する「実習科目」と修士論文に収斂する「研究指導科目」をおく</p>	<p>臨床心理学専攻では、心のケアの専門家に必要とされる専門知識と研究方法を習得し、それらにもとづく基礎的な研究力を高度な職業活動や実践的な研究において生かすことが可能な、以下の知識と能力を有する院生に「修士（臨床心理学）」を授与する。</p> <p>【DP1 専門知識】臨床心理学に関する必要な専門知識を有する</p> <p>【DP2 読解力】内外の先行研究を正確に読み取ることができる</p> <p>【DP3 表現力】文章および口頭により、自身の考えを他者に論理的に伝達できる</p> <p>【DP4 実践能力】職業人もしくは研究者として必要とされる実践を行なえる</p> <p>【DP5 研究力】自発的に研究課題を設定し、研究を遂行できる</p>

専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
小野 純平 教授	臨床心理学、発達臨床心理学、心理査定	被虐待の心理援助、発達障害のアセスメントと支援、臨床心理アセスメント	臨床心理査定演習Ⅱ、心理的アセスメントに関する理論と実践、論文研究指導
久保田 幹子 教授	臨床心理学、心理療法（森田療法、カウンセリングなど）、心理査定	不安症・強迫症に対する森田療法、女性の心理的危機と援助、比較心理療法など	臨床心理基礎実習、医療心理学特論、論文研究指導
末武 康弘 教授	臨床心理学、カウンセリング・心理療法	クライアント中心療法（パーソンセンタードセラピー）、フォーカシング指向療法の理論的・実践的研究	臨床心理基礎実習、臨床心理面接特論Ⅱ、心理支援に関する理論と実践、論文研究指導
関谷 秀子 教授	児童青年精神医学、精神分析学	思春期青年期の発達、精神分析的精神療法、親ガイドランス	力動的心理療法特論、保健医療分野に関する理論と支援の展開、論文研究指導
長山 恵一 教授	比較精神療法、精神医学	内観療法・森田療法・精神分析の臨床と研究、ヴェーバー社会学と精神科学の関連	臨床心理学研究法特論、比較心理療法特論、論文研究指導
丹羽 郁夫 教授	臨床心理学、コミュニティ心理学、子どもの心理療法	子どもの心理療法、ソーシャルサポート・ネットワーク、コンサルテーション、移行対象	臨床心理実習Ⅱ、心理臨床演習、心理実践実習、論文研究指導
服部 環 教授	教育心理測定学、心理データ解析	項目反応理論と心理データ解析に関する理論と応用	※2019年度はサバティカル(研究専念年度)です
望月 聡 教授	神経心理学、認知行動病理学	神経心理学的症状とその発生機序・影響についての基礎研究と応用研究、心理的障害やその傾向の発生や維持に関連する機序・要因の実証的研究	認知心理学特論、教育心理学特論、論文研究指導
金築 優 准教授	認知行動療法	認知行動療法の理論（特に知覚制御理論）に関する研究	臨床心理学特論、臨床心理実習Ⅱ、心の健康教育に関する理論と実践、心理実践実習、論文研究指導
岩田 美香 兼任教授（科目担当）	児童・家族福祉論、教育福祉論	子育て・子育ての社会的困難に関する研究、貧困家族に対するソーシャルワーク	児童福祉特論
中村 律子 兼任教授（科目担当）	高齢者福祉論、老いの比較文化論	高齢者施設処遇史研究、高齢者福祉制度の比較研究	高齢者福祉特論

[2019年度] ※年度により授業を持たない場合があります。

### 研究室紹介

金築 優 准教授



#### 認知行動療法に関連する理論と技法の研究

#### 科学的心理学の研究知見を心理臨床に活かす

不安や抑うつといった否定的な感情が、なぜ強まり、生活の質を低めるのか、そしてそれらの感情がどのように和らぐのかについて、認知行動療法の立場から研究しています。また、セルフケアとして、科学的心理学の技法を用いて、いかに健康を増進できるかにも関心があります。公認心理師と臨床心理士を目指す上で、他者のために役立ちたいという温かいスピリットと、常識的な考えを科学的かつ批判的に検討できる思考力を併せ持つことが重要であると考えています。臨床心理学専攻には、様々な学派のカウンセリング・心理療法、心理査定から基礎心理学まで、ヴァリエティ豊かな教員がいて、研究室の垣根を越えて指導を受けやすいことが特徴です。

### 学生・修了生の声

下釜 穰

修士課程 在学中



#### 相手の想いを汲み取れる人材を目指し、人との関わりの重要性を研究しています

##### 学びのきっかけ

臨床心理学を専攻した理由は、他者との何気ないやりとりの中からも相手の想いを汲み取り、寄り添えるようになりたいという思いからでした。法政大学大学院には様々な学派の先生がいることも魅力の一つです。現在は、医療や教育だけでなく福祉や産業領域の講座も取得し多彩な角度から心理を捉え学んでいます。

##### 学んだこと・身についたこと

研究室では、人が苦しい体験やストレスフルな状況からどのように生きる力を獲得しているのかを研究しています。特に周囲の人と関わりを持つことが本人に与える影響力は大きく、着目しています。また、講義では自身の研究テーマを発表する形式の授業が多いため、研究内容を人にわかりやすく伝える手法を考えるようになりました。

##### 研究テーマ

日本人大学生におけるストレスフルな体験の意味づけに伴う成長感と他者との関係が生きる意味に及ぼす影響  
- P-PTGとしての生きる意味の構造体について -

### 設置科目【修士課程】

- 臨床心理基礎実習（2）
- 臨床心理学特論（4）
- 心理支援に関する理論と実践（2）
- 臨床心理面接特論Ⅱ（2）
- 心理的アセスメントに関する理論と実践（2）
- 臨床心理査定演習Ⅱ（2）
- 心理実践実習（1）
- 臨床心理実習Ⅱ（1）
- 心理学研究法特論（2）
- データ分析法（2）
- 臨床心理学研究法特論（2）
- 認知心理学特論（2）
- 教育心理学特論（2）
- 発達心理学特論（2）
- 家族心理学特論（2）
- 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開（2）
- 保健医療分野に関する理論と支援の展開（2）
- 福祉分野に関する理論と支援の展開（2）
- 産業・労働分野に関する理論と支援の展開（2）
- 児童福祉特論（2）
- 高齢者福祉特論（2）
- 教育分野に関する理論と支援の展開（2）
- グループ・アプローチ特論（2）
- 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践（2）
- 投影法特論（2）
- 心の健康教育に関する理論と実践（2）
- 力動的心理療法特論（2）
- 比較心理療法特論（2）
- 心理臨床演習（2）
- 医療心理学特論（2）
- 論文研究指導（4）

[2019年度] ※開講科目は年度により異なります。( ) = 単位数

### 修了生の研究テーマ

- 日本におけるトランスジェンダー当事者に対する非当事者の態度に関する研究
- 自閉症スペクトラム児を持つ母親の障害受容 - 障害受容促進要因に関する研究 -
- 内観療法における心理的変容のプロセス - 愛着スタイルを中心に -
- 大学生アスリートにおける受傷体験と反すうの関連性
- マインドフルネスが孤独感の低減に及ぼす効果 - 孤独に対する捉え方に着目して -
- 失恋からの回復過程の検討
- 母親の完全主義傾向とSOC（首尾一貫感覚）が育児ストレスに及ぼす影響について
- 大学生の恥意識についての研究 - 対人恐怖心性と回避的傾向、及び心理的自立との関連から -
- 入院森田療法患者の体験分析 - 自己受容と育児不安の関連について - 夫婦関係の観点から -
- フォーカシングにおけるアセスメントツールとしてのFocusability Check List (FCL) の作成及び検討
- コラーージュを実施した際の効果とその男女間および性格傾向の差異
- 災害ボランティアによる仮設住宅入居者への心理社会的支援に関する質的研究 - 東日本大震災における長期的な活動事例から -
- 心理学的ストレスプロセスにおけるレジリエンスが持つ効果に関する研究
- twitter 依存とメンタルヘルスとの関連について - 愛着と自己愛からの検討 -
- 中国人留學生における日本人との対人ストレスとコーピングが精神健康に及ぼす影響
- 外部EAP利用者における被援助行動を規定する要因
- 青年期の発達 - 子どもが両親から受ける影響の男女差 -